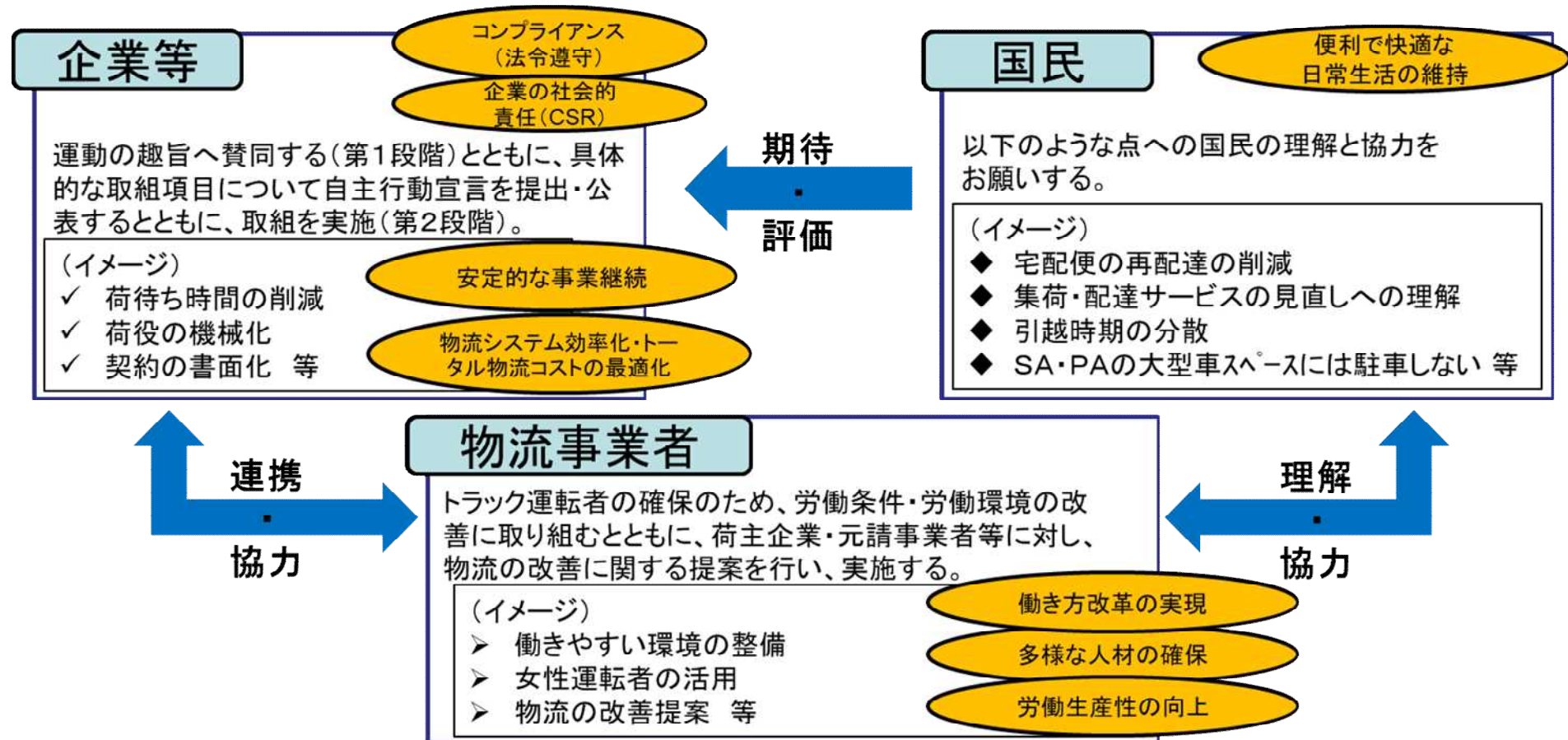


「ホワイト物流」推進運動とは？

- ◆ 深刻化が続くトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的とし、
 - ①トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化
 - ②女性や60代以上の運転者等も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現に取り組む運動です。
- ◆ 物流の改善に向けては、荷主企業・物流事業者等の関係者が連携して相互に改善を提案し、協力して実現することが大切です。



「ホワイト物流」推進運動と「働き方改革」

「ホワイト物流」推進運動の他にも、政府行動計画に基づき、例えば、次のような取組が進められています。

(1) 行政処分の強化

トラック事業者は、「改善基準告示」という拘束時間、運転時間等のルールを遵守する必要があり、違反した場合、事業停止処分、車両停止処分等の行政処分の対象となります。

2018年7月1日より、過労防止関連違反の処分量定が引き上げられました。

【改善基準告示のイメージ】

拘束時間 (始業から終業までの時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日^(※2) 原則13時間以内 最大16時間以内 (15時間超えは週2回以内) ・ 1か月 293時間以内
休息期間 (勤務と勤務の間の自由な時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して8時間以上
運転時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2日平均で、1日あたり9時間以内 ・ 2週間平均で、1週間あたり44時間以内
連続運転時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4時間以内

改善基準告示を遵守するため、荷待時間や荷役時間の短縮、高速道路の活用など、「発」及び「着」の荷主の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

(2) 標準運送約款の改正

国土交通省が制定するトラック事業者と荷主の契約書のひな形である標準運送約款を改正し、運送の対価である「運賃」と、荷役料、待機時間料などの「料金」の区別の明確化等を行いました。

平成29年11月4日よりトラック運送における運賃・料金の収受ルールが変わりました。

標準貨物自動車運送約款等の改正概要

- 「運賃」と「料金」の区別を明確化しました

運賃が運送の対価であることを明確化します。

改正前：運賃の範囲が不明確

改正後：運賃が運送の対価であることを明確化

運賃(運送の対価のみ) + 料金(運送以外の荷役等の対価)
- 「待機時間料」を新たに規定しました

荷主都合による荷待ち時間の対価を「待機時間料」とします。

荷待ち時間が発生した場合には待機時間料がかかります。

わかりました。今後は荷待ち時間が発生しないよう努力します。
- 附帯業務の内容をより明確化しました

附帯業務の内容に「梱入れ」、「ラベル貼り」等[※]を追加します。

※その他の追加する付帯業務：「梱付け」、「梱付け」、「梱付け」(倉庫等に於いて荷役を一足の方法で複数回繰り返す作業)等

企業等の皆様にお願ひしたいこと

以下の「**自主行動宣言**」の**必須項目**に合意し、
賛同表明をお願いします。

<取組方針>

事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

<法令遵守への配慮>

法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

<契約内容の明確化・遵守>

運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

「ホワイト物流」推進運動の参加の流れ

- ① 「ホワイト物流」推進運動の趣旨と、「自主行動宣言」の必須項目に合意し、賛同表明をお願いします。

※賛同企業名は公表いたします。

- ② これに加え、自社としてさらに取り組むことができる項目について、次の推奨項目を参考に、検討をお願いします。

※「自主行動宣言」に盛り込んだ推奨項目を公表するか否かは任意で、随時変更可能です。

- ③ 「ホワイト物流」推進運動のポータルサイトから様式をダウンロードの上、自主行動宣言を作成し、電子メールで事務局に提出して下さい。

A 運送内容の見直し

- ①物流の改善提案と協力
- ②予約受付システムの導入
- ③パレット等の活用
- ④発荷主からの入出荷情報等の事前提供
- ⑤幹線輸送部分と集荷配送部分の分離
- ⑥集荷先や配送先の集約
- ⑦運転以外の作業部分の分離
- ⑧出荷に合わせた生産・荷造り等
- ⑨荷主側の施設面の改善
- ⑩リードタイムの延長
- ⑪高速道路の利用
- ⑫混雑時を避けた配送
- ⑬発注量の平準化
- ⑭船舶や鉄道へのモーダルシフト
- ⑮納品日の集約
- ⑯検品水準の適正化
- ⑰物流システムや資機材の標準化

推奨項目

B 運送契約の方法

- ①運送契約の書面化の推進
- ②運賃と料金の別建て契約
- ③燃油サーチャージの導入
- ④下請取引の適正化

C 運送契約の相手方の選定

- ①契約の相手方を選定する際の法令遵守状況の考慮
- ②働き方改革等に取り組む物流事業者の積極的活用

D 安全の確保

- ①荷役作業時の安全対策
- ②異常気象時等の運行の中止・中断等

E その他

- ①宅配便の再配達削減への協力
- ②引越時期の分散への協力
- ③物流を考慮した建築物の設計・運用

F 独自の取組

「トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化」や「女性や60代以上の運転者等も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現」につながる独自の取組

自主行動宣言様式

- ◆ 自主行動宣言の様式や推奨項目リストは「ホワイト物流」推進運動のポータルサイトでご覧になれます。
- ◆ まずは、取り組みやすい項目からでも結構ですので、是非ご検討をお願いします。

**「ホワイト物流」推進運動
持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言**

企業・組合名	代表者の役職・氏名 役職	氏名	所在地 〇〇都	主たる事業 製造業	ホームページ
--------	-----------------	----	------------	--------------	--------

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します

(取組方針)
 ・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、.....

(法令遵守への配慮)
 ・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、.....

(契約内容の明確化・遵守)
 ・運送及び荷役・検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、.....

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1			
2		推奨項目リストにある取組項目を記入します	推奨項目リストからの選定事項について、取り組もうとする具体的な内容を記載します。
3		推奨項目に付す分類番号を記入します	
⋮			
PR欄			希望される企業等は、この欄で自社PRが可能です。

賛同企業情報

←

賛同宣言

←

必須項目

↓

推奨項目

↓

公表は任意

「ホワイト物流」推進運動への参加による期待効果

「ホワイト物流」推進運動への参加で
以下のような効果が期待できます！

- ◆ 業界の商慣行や自社の業務プロセスの見直しによる
生産性の向上
- ◆ 物流の効率化による**二酸化炭素排出量の削減**
- ◆ 事業活動に必要な**物流を安定的に確保**
- ◆ **企業の社会的責任の遂行**

ポータルサイト開設のご案内

今後「ホワイト物流」推進運動のポータルサイトを開設する予定です。

URL <https://white-logistics-movement.jp>



「ホワイト物流」 推進運動

検索



荷主企業と物流事業者の課題共有と方策検討により、荷待ち時間・荷役時間の短縮が図られた事例

<課題>

- 納品先で、先着順での積込・積降しが行われていた。
- 一方で、納品先の荷受け処理能力やトラックバース数には限りがあり、特定時間帯に納品車両が日常的に集中した。
- 結果、**長時間のムダな荷待ちが常態化**していた。

<方策>

- 納品先が「**予約受付システム**」を導入し、物流事業者が活用することとした。
- 併せて、**各トラックバースの荷役予定時間を事前設定**する運用変更を実施した。

<成果>

- 物流事業者は予約時刻を前提に運行できるようになった。これにより、**荷待ち時間が大幅に短縮**した。
- 納品先も庫内作業が**効率化**され、**時間あたり貨物取扱量が増加・荷役作業時間が短縮**した。

荷主企業と物流事業者の課題共有と方策検討により、荷役時間・リードタイムの短縮が図られた事例

<課題>

- 10トン車にレタスのバラ積み1,200ケース分(1ケース7~10kg程度)のダンボールを手積み・手降ししていた。
- 手作業での大量の貨物の積込・積降しは、トラック運転者にとって重労働。
- 荷主企業にとっては、リードタイムが長くなる要因に。



<方策>

- パレットを使用するよう、物流事業者と発荷主・着荷主が調整。パレットの費用の負担や保管・返却方法について、関係者の間で合意。
- これを踏まえて、手作業からフォークリフトによる荷役作業に移行。



<成果>

- **荷役時間が大幅に短縮した。**(2~3時間⇒20~40分)
- 荷主企業にも、**全体的なリードタイムの短縮実現**につながった。